

登別におけるわき水調査

室蘭測候所

北海道幌別郡幌別村字登別の室蘭本線登別駅から南西約300m離れた地点に登別コンクリート株式会社がボーリング工事を行つていたところ、1949年2月5日深さ73.3mまで掘りさげたとき、32.0°Cのわき水があつた。なお、この附近は登別温泉地帯である。

水温

月 日	時 刻	水 温	気 温
2 11	時 分 10 45	29. 6°C	4. 3°C
2 18	10 30	29. 3	0. 8



オ 1 図

なお、この附近には数箇の掘抜井戸があるが、この水温は次のようにある。

A点深さ70m 水温18.5°C；B点深さ70m 水温17.7°C；C点深さ106m 水温18.2°C。

わき出し量：太さ2吋の鉄管からわき出る水量は1分間6箇くらいであつた。

水質：日本製鉄株式会社輪西製作所研究課（室蘭市輪西町）で定量分析を行つた結果は次のようである。水は無色、透明、pH 7.3、比重 1.000

11中の成分表

固形物総量 0.8550g

成分

塩化カリウム 0.1027g

塩化アンモニウム 0.0003g

塩化ナトリウム 0.0328g

硫酸ナトリウム 0.4231g

重炭酸カルシウム 0.1546g

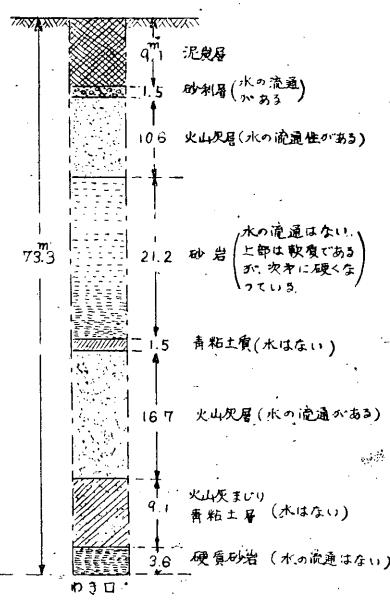
重炭酸マグネシウム 0.0657g

硫酸アルミニウム 0.0069g

メタ珪酸 0.1095g

遊離炭酸 0.0066g

硼酸 痕跡



オ 2 図

わき出し箇所の地質：ボーリング施行者から得た地質の断面図は第2図のようである。